

みずほCustomer Desk Report 2023/09/19 号 (As of 2023/09/18)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	-
TKY 9:00AM	147.86	1.0669	157.72	1.2397	0.6440
SYD-NY High	147.88	1.0699	157.93	1.2410	0.6449
SYD-NY Low	147.57	1.0655	157.36	1.2371	0.6417
NY 5:00 PM	147.61	1.0693	157.81	1.2385	0.6437
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,624.30	6.06	日本2年債	-	-
NASDAQ	13,710.24	1.90	日本10年債	-	-
S&P	4,453.53	3.21	米国2年債	5.0549%	0.0191%
日経平均	-	-	米国5年債	4.4482%	▲0.0151%
TOPIX	-	-	米国10年債	4.3016%	▲0.0338%
シカゴ日経先物	33,105.00	5.00	独10年債	2.7155%	0.0470%
ロンドンFT	7,652.94	▲ 58.44	英10年債	4.3850%	0.0260%
DAX	15,727.12	▲ 166.41	豪10年債	4.2110%	0.1130%
ハンセン指数	17,930.55	▲ 252.34	USDJPY 1M Vol	9.06%	▲0.09%
上海総合	3,125.93	8.19	USDJPY 3M Vol	9.26%	▲0.05%
NY金	1,953.40	7.20	USDJPY 6M Vol	9.34%	▲0.05%
WTI	90.58	▲ 0.19	USDJPY 1M 25RR	▲0.95%	Yen Call Over
CRB指数	289.38	▲ 0.23	EURJPY 3M Vol	9.08%	▲0.09%
ドルインデックス	105.20	▲ 0.12	EURJPY 6M Vol	9.43%	▲0.11%

アジア	前週末海外時間に年初来高値を更新していたドル円は、週明けのアジア時間、147.86レベルでスタート。東京休場で参加者も少ないことに加え、FOMCや日銀政策決定会合といった重要イベントを目前に控える中では警戒感も強く、朝方から軟調な展開。ハンセン株指数といった主要アジア株の軟調な値動きも重しとなった。昼前には値動き一服し、147.75近辺でもみ合っていたものの、午後に入ってから小幅に下げ幅を広げると、147.60レベルでアジア時間クローズ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、147.60円レベルでオープン。海外時間に続き、イベント前に動意の薄い展開。米長期金利の上昇を背景に147.74円まで上昇するも、その後は勢い続かず147.58円まで売られる。結局、147.62レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は147円台後半でスタート。東京市場が休場で値幅が限定的の中、147.70を挟んだ方向感乏しい推移が続き、147.62レベルでNYオープン。本日は特段注目の経済指標発表の予定がなく、午前中は147.77まで上昇する場面も見られたが、手がかり材料を欠き、伸び悩む。その後、147.60辺りまで小幅反落。午後147.70付近での動意乏しい値動きが続き、147.61レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.06台半ばでスタート。手がかり材料が見当たらず1.0670付近を中心とした推移が続き、1.0664レベルでNYオープン。オープン序盤は1.0655まで値を下げるも、その後「ECBが過剰流動性への対処方法を近く議論する」との速報を受け、一転ユーロ買いが優勢となり、1.0699まで戻すも、1.07台手前で失速し、1.0684まで反落。午後は1.0680付近での狭い値動きが続き、1.0693レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：伊藤・南野

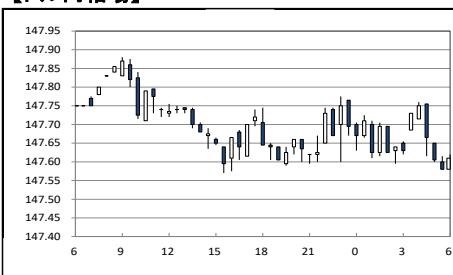
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想

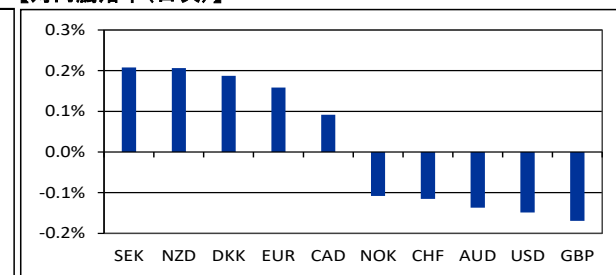
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月19日	18:00	欧 CPI(前年比/前月比)・確報	8月 5.3%/0.6%	5.3%/0.6%
	21:30	米 住宅着工件数	8月 1439k	1452k
	21:30	米 住宅着工件数(前月比)	8月 -0.9%	3.9%
	21:30	米 建設許可件数	8月 1440k	1443k
	21:30	加 CPI	8月 158.3	158.1
	21:30	米 住宅建設許可(前月比)	8月 -0.2%	0.1%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	147.30-148.50	1.06200-1.0750	156.50-159.00

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日の東京時間午後には植田総裁のインタビューにギャップありとの関係者発言に円売りが強まり、ドル円は147.40レベルから80レベルへ上昇した。その後「ECBのタカ派、12月もまだ追加利上げする可能性あり」とのFT報道などでEUR上昇。円売りの流れの中で、全体的にクロス円が底堅く推移した。

今週のドル円は上値トライの可能性が高いものの、その後は材料出尽くしで一旦調整も入りやすいか。FOMCではタカ派据え置きが予想されている。年内の利上げの可能性を維持する中、来年以降の利下げ見通し(中央値)に注目が集まりやすい。基本的にはタカ派維持となる可能性が高く、日銀の動きに変更なければ、ドル円は148円を突破する可能性が高いか。足元の原油価格上昇なども円売りサポート。ただ、7月のポジション調整は記憶に新しい。ドル円ロングポジションは相応に蓄積されており、材料出尽くしで調整が入る可能性には注意したいところ。